

## 原料費調整制度に基づく平成30年12月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m<sup>3</sup>あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、平成30年7月から平成30年9月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映	反映	
			→			反映	反映
			→				反映

○平成30年12月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m <sup>3</sup> あたり)	
			平成30年11月検針分	平成30年12月検針分
料金表 A	0 m <sup>3</sup> から 11 m <sup>3</sup> まで	772.20 円	196.67 円	198.08 円
料金表 B	11 m <sup>3</sup> 超～115 m <sup>3</sup> まで	874.80 円	187.37 円	188.78 円
料金表 C	115 m <sup>3</sup> 超～	1,925.64 円	178.23 円	179.64 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 38,910円/トン**

平成30年7月から30年9月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	58,850 円/トン(10円未満四捨五入)
平成30年7月から30年9月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	67,140 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 58,850 円/トン×0.9771 +67,140 円/トン×0.0474	60,680 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	60,680 円 - 38,910 円 = <u>21,700 円/トン</u> (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m <sup>3</sup> あたりの価格変動額	0.077 円
平成30年12月分検針の調整額(1m <sup>3</sup> あたり)	21,700 円×0.077 円÷100×1.08 = <u>18.04 円</u> (税込) (小数点第3位切り捨て)
平成30年11月分検針の調整額(1m <sup>3</sup> あたり)	16.63 円(税込)
(12月分)対(11月分)増減(1m <sup>3</sup> あたり)	<u>+1.41 円(税込)</u>

平成30年12月分の単位料金を1m<sup>3</sup>あたり +18.04円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	平成30年11月分料金	平成30年12月分料金	影響額
20m <sup>3</sup>	4,622円	4,650円	+28円